

## 令和2年度第1回 岐阜市立女子短期大学運営委員会報告書

1 日 時 令和2年8月17日(月) 13時30分～15時10分

2 場 所 岐阜市立女子短期大学 大会議室

3 出席者

(1) 外部委員(1号委員) 出席4名

石黒委員、大坪委員、武藤委員、森委員

(2) 学内委員(2号委員) 出席4名

杉山学長、道家副学長、服部附属図書館長、久米事務局長

(3) 教 員 出席4名

小島英語英文学科長、川上国際文化学科長、  
小野食物栄養学科長、奥村生活デザイン学科長

4 次第

(1) 各学科のカリキュラム内容等にかかる意見について

(2) 岐阜市立女子短期大学あり方提言書について

5 委員の意見

○意見1

これからの時代は、コミュニケーション能力が重要となる。学ぶ場所を学外として、企業の職場でグループワークとするなど、環境を変えて刺激を受けることも必要である。

○意見2

短期大学という2年間で教育の研究成果で、多くの資格にチャレンジする成果をあげている。実社会の橋渡しも選択科目に必要である。

○意見3

大学へ進学する場合には、3年生からの編入があるが、大学に編入したときの短大の卒業研究等が認められるような仕組みがあるとよい。

○意見4

短期大学の2年間の中で、成果を出しており、誇りと思うが、認知度が低いのが残念である。学生にとっても誇らしい学校にしてほしい。

○意見5

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために遠隔授業が多くなり、教員と学生の接触の機会が少なくなっている。双方向でコミュニケーションが取れるように配慮が必要である。